

# 子どもとたのしむ絵本のリスト

2～3歳



～絵本を通して ころよいひとときを～

逗子市立図書館

## どうぞ絵本を読んであげてください

2歳をすぎると、子どもの興味の幅はぐんと広がってきます。ストーリーのある物語絵本を楽しむようになるかもしれません。「次はどうなるのかな」と先の展開を予測しながらお話を聞くこともあります。ぜひ、いろいろな絵本を読んであげましょう。

では、具体的にどんな風に読んであげればいいのでしょうか。特別な技術もコツもありません。すなおにゆっくりと、心をこめて読んであげましょう。聞きなれた大好きな声は、まっすぐに子どもの心に届きます。

また、おはなし会に参加してはいかがでしょう。図書館では、子どもの年齢に合わせたおはなし会を行っています。

## よい絵本と出会うために

このブックリストでは、多くの子どもたちに長い間読み継がれてきた絵本を中心に紹介しています。とはいえ「おすすめの本」がすべてではありません。

「よい本」とは「その子にとってのよい本」です。ひとりひとりが「かけがえのない本」にめぐりあえるように、私たち大人は、子どもと本が出会う機会を、環境を、整えていかなければならないのだと思います。

# うさこちゃんとゆうえんち 改版

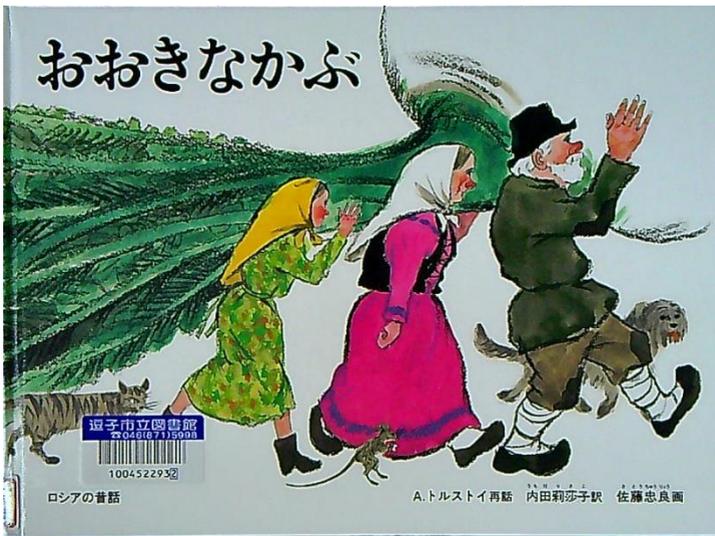
ディック・ブルーナ／文絵 いしいももこ／訳  
福音館書店



ある日、とうさんが「きょうは みんなで ゆうえんちへいこう」といいました。うさこちゃんはおおよろこびです。むかしから愛されているうさこちゃんシリーズの一冊。

# おおきなかぶ－ロシアの昔話－

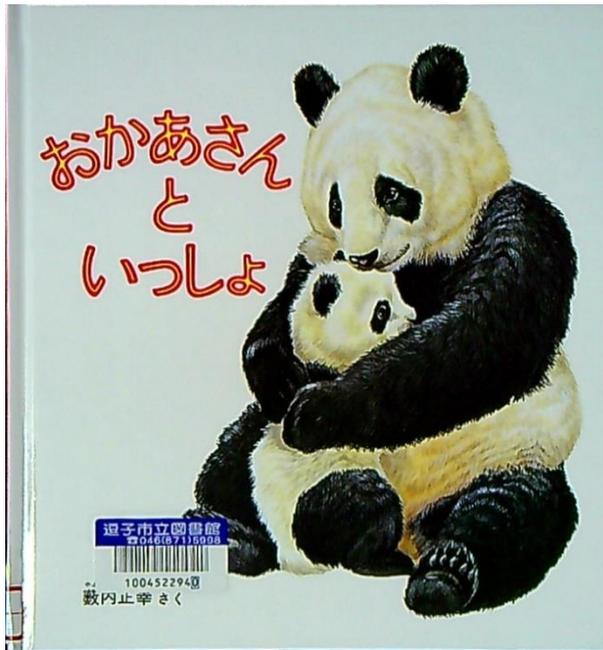
A.トルストイ／再話 内田莉莎子／訳  
佐藤忠良／画  
福音館書店



おじいさんが大切に育てたかぶ。大きくなって  
なかなか抜けません。おばあさんや孫、いろ  
いろな動物たちの力をかりてかぶを引き抜きまし  
た。「うんとこしょ どっこいしょ」という繰  
り返しのフレーズが子どもは大好きです。

# おかあさんといっしょ

藪内正幸／作  
福音館書店



身近ないぬやねこ、動物園でよく見るサルやゾウなどの親子が登場します。ぴったりと寄り添う、動物たちの様子は、読み聞かせを楽しむ大人と子どもの姿にも重なります。

# おつきさまこんばんは

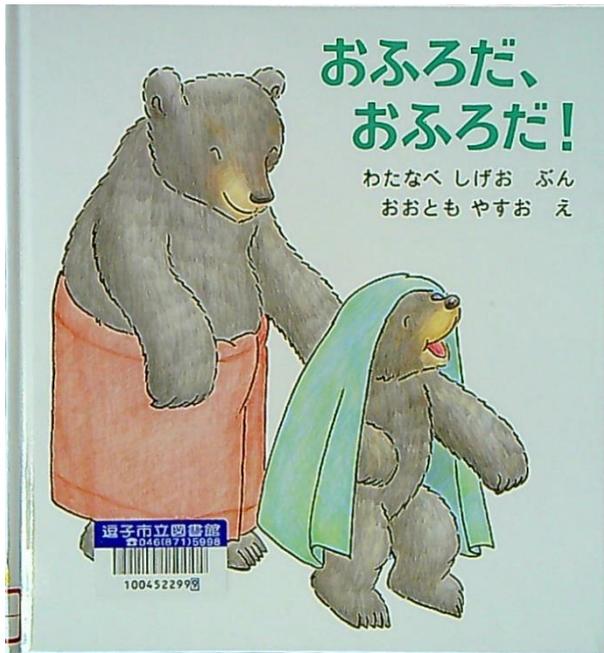
林明子／作  
福音館書店



夜、空におつきさまが出てきました。ニッコリと笑うまんまるなおつきさま、雲にかくれて泣きそうなおつきさま。寝る前の読み聞かせにぴったりの一冊です。

# おふろだ、おふろだ!

わたなべしげお／文 おおともやすお／絵  
福音館書店



どろだらけで帰ってきたこぐまが、おとうさんとおふろに入ります。しっかり温まり、体を洗い、パンツもひとりではけるこぐまはおふろ優等生ですね。おふろからあがったら、おとうさんと寝転んで本を読んでいますよ。

# きんぎょが にげた

五味太郎／作

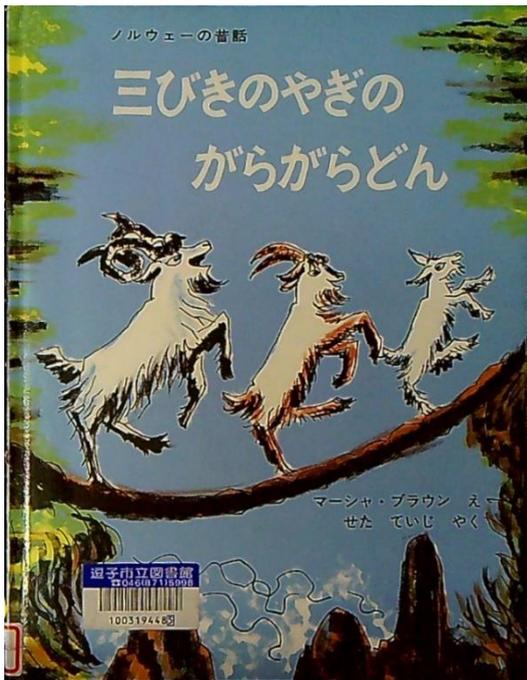
福音館書店



きんぎょが金魚ばちから逃げ出しました。どこへ行ったのかな。カーテンの模様の中にいる、と思ったら、またまたどこかへとんでいっちゃった…。きんぎょといっしょに、絵本の中でかくれんぼを楽しみましょう。

# 三びきのやぎのがらがらどん －ノルウェーの昔話－

マーシャ・ブラウン／絵 せたていじ／訳  
福音館書店



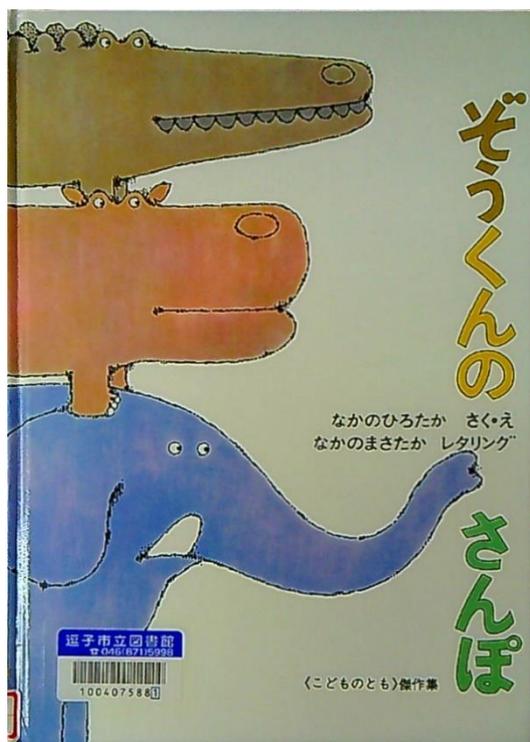
三びきのやぎが、小さいやぎから順番に、橋を渡って山へ行きます。橋の下には恐ろしいトロールがまちうけていますが…。北欧の自然が見事に表現されたマーシャ・ブラウンの絵もすばらしく、子どもの心をひきつけるお話です。

# ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか／作絵

なかのまさたか／レタリング

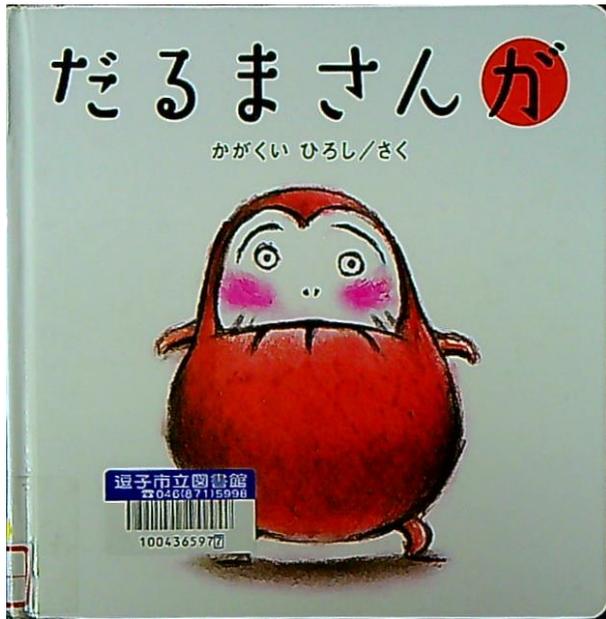
福音館書店



ぞうくんが、かばくん、わにくんそしてかめくんと散歩に出かけるのですが、その散歩の様子がちょっと変わっているのです。ユーモラスな絵に思わず引き込まれてしまいます。

# だるまさんが

かがくいひろし／作  
ブロンズ新社



「だるまさんが…」とページをめくるたびに、  
ぷしゅーとつぶれたり、ぷっとおならをした  
り。表情ゆたかなだるまさんが次に何をするの  
か、楽しみでワクワクします。

# ちいさなねこ

石井桃子／作 横内襄／絵  
福音館書店



ちいさなねこは、おかあさんねこが見ていない間に外へ出てしまいます。どんどん走って、車にひかれそうになったり、いぬに追いかけられたり…。子どもたちは自分のことのようにドキドキするでしょう。

# つみき

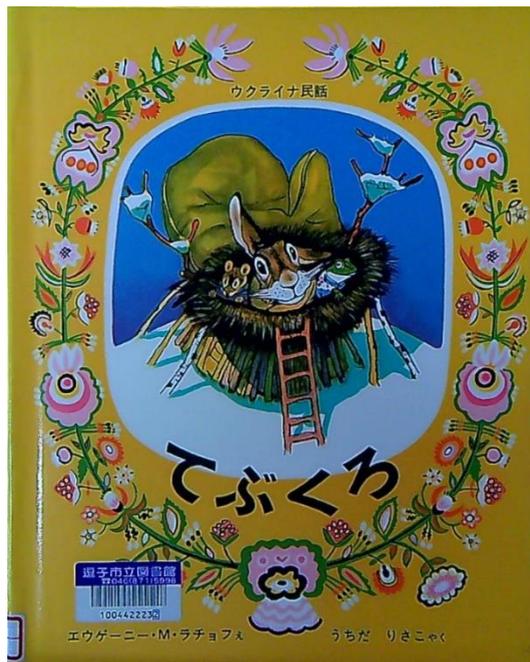
中川ひろたか／文 平田利之／絵  
金の星社



ひとつ、ふたつ、みっつ、とみんなでつみきを  
積んでいきます。描かれた手から誰が積んでい  
るかわかるでしょうか。10まで高く積み上げたら、  
あれあれ、てんとうむしがやってきて、  
がっしゃーん。ではまた、はじめから。

# てぶくろーウクライナ民話ー

エフゲーニ・ラチョフ／絵 うちだりさこ／訳  
福音館書店



雪深い森の奥で、ねずみが手袋をひとつみつけました。かえる、うさぎ、きつね…と次々にやってきて、手袋にもぐりこみます。繰り返しの面白さが引き立つお話です。

# ととけっこうよがあけた

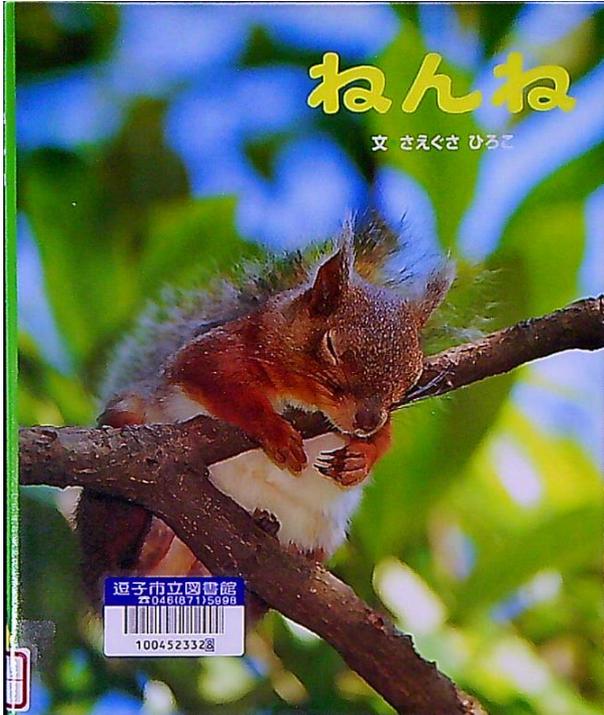
こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵  
こぐま社



元気いっぱいのにわとりが、動物の子どもたちを起こしてまわるわらべうたの絵本です。子どもと一緒に、楽しく歌いながら読んでみてください。子どもの名前を入れて歌っても楽しいですよ。

# ねんね

さえぐさひろこ／文  
アリス館



いろいろな動物の寝ている様子を集めた絵本です。仲間同士でくっついて寝たり、丸まって寝ていたり、かわいらしい無邪気な姿がたくさん登場します。

# はだしになっちゃえ

小長谷清実／文 サイトウマサミツ／絵  
福音館書店



ギラギラと暑い夏は、さあ海へ。はだしで走り出せば、砂浜の熱さや打ち寄せる波の感触、足のうらはいろんなことを感じ取ってくれます。はだしの気もちよさが、ギュッとつまった絵本です。

# はらぺこあおむし

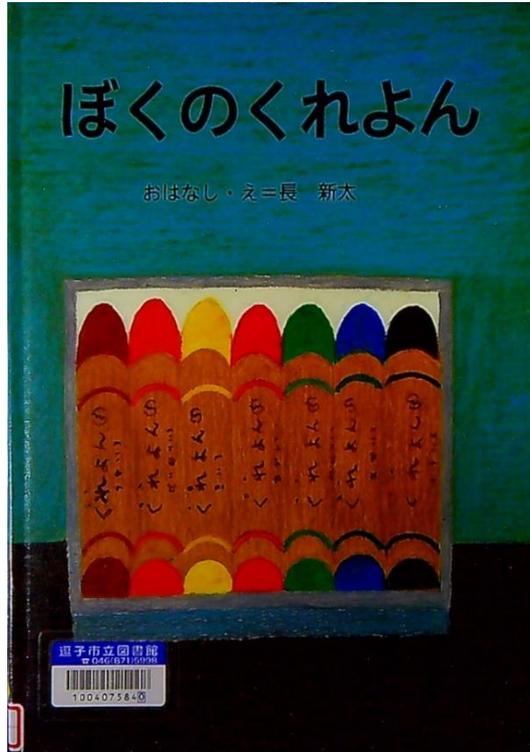
エリック=カール／作 もりひさし／訳  
偕成社



生まれたてのあおむしは、おなかがすいてぺっこぺこ。おいしい食べ物を見つけては、次から次へと食べて大きくなり、やがて美しいチョウになります。食べたあとの小さなしかけや鮮やかな色づかいなども楽しめます。

# ぼくのくれよん

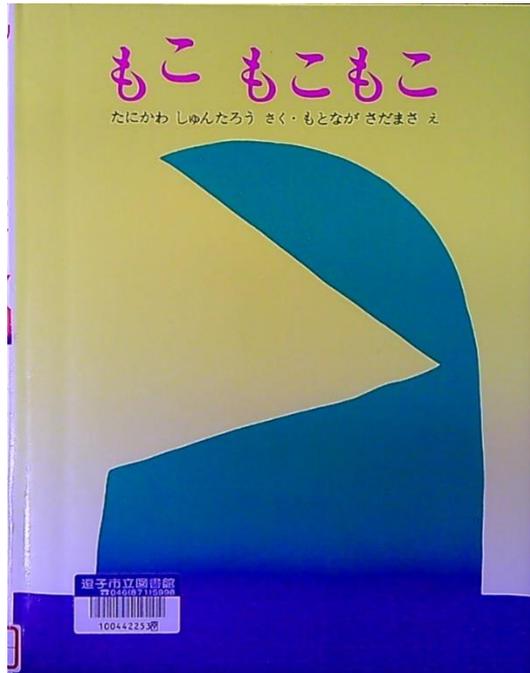
長新太／おはなし絵  
講談社



とっても大きなくれよんがありました。これは  
ぞうのくれよんなのです。ながーい鼻を上手に  
使って、このくれよんで絵をかいたら…さて、  
どうなるでしょう。ページいっぱい広がるダ  
イナミックな絵が子どもをひきつけます。

# もこもこもこ

谷川俊太郎／作 元永定正／絵  
文研出版



もこっとでてきた“何か”がもこもこもこっと大きくなって、最後には…。短く繰り返される擬音がおもしろく、へんてこな絵がその音にぴったりと合います。

# やさいのおなか

きうちかつ／作絵

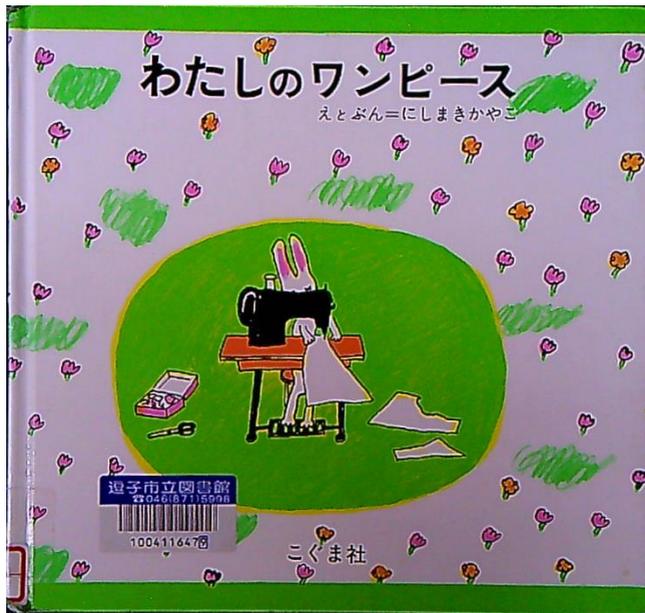
福音館書店



白と黒のシルエットをみて「これ なあに」。  
やさいの断面図をおなかにみたくて、何のやさい  
か当てます。普段みているやさいの形とは違い、  
特徴ある断面に新たな発見があります。

# わたしのワンピース

にしまきかやこ／絵と文  
こぐま社



空から落ちてきた真っ白な布でワンピースをつくりました。できあがったワンピースを着て、お花畑を歩いたら花模様、雨が降ってきたら水玉模様になります。次から次へと模様が変わるすてきなワンピースのおはなしです。

# 絵本のガイドブック

『本・子ども・絵本』新版 JG 019 ナ  
中川李枝子／著 山脇百合子／絵 大和書房 2013

『ベーシック絵本入門』 JG 019 ハ  
生田美秋／編著 石井光恵／編著 藤本朝巳／編著  
ミネルヴァ書房 2013

『松居直のすすめる50の絵本－大人のための絵本入門－』  
JG 019 マ 松居直／著 教文館 2008

『今、この本を子どもの手に』 JG 028 イ  
東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2015

『絵本の庭へ』 JG 028 ト  
東京子ども図書館／編 東京子ども図書館 2012

『私たちの選んだ子どもの本』改訂新版 JG 028 ト  
東京子ども図書館／編集 東京子ども図書館 2012

『絵本から学ぶ子どもの文化』 JG 371.4 ア  
浅木尚実／編著 同文書院 2015

子どもとたのしむ絵本のリスト  
2～3歳

2004年4月 初版  
2011年10月 改訂新版  
2021年4月 改題改訂新版

逗子市立図書館

逗子市逗子4-2-10

電話 046(871)5998

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>